

立命館 言語文化研究

26巻1号

目次

国際ワークショップ

「遊戯、メディア、アイデンティティ」

ホモ・ルーデンス 2.0

…………… ジョス・デ・ムル／榎田祐一郎，雁木 聡，原 草平（訳）（1）

規則と自由の弁証法としてのゲーム

— 〈ルール of 牢獄〉でいかに自由が可能か？…………… 吉田 寛（19）

ヴァナキュラー文化研究会

レクチャー・コンサート & 国際シンポジウム

「日本とアメリカ，歌の架け橋—スティーブン・フォスター歌曲の受容と展開」

はじめに…………… ウェルズ恵子（30）

〈英文〉 The Expansion of Stephen Foster Songs in Japan:

from their Reception in the Meiji Period to Acculturation in our Digital Age / Program

…………… Keiko WELLS（31）

第1部：基調講演

〈原文〉 Stephen Foster's Songs as American Vernacular …………… Deane L. ROOT（35）

〈翻訳〉 スティーブン・フォスターとアメリカ

…………… ディーン・L・ルート／湊 圭史（訳）（49）

第2部：シンポジウム

〈原文〉 American Music in Meiji Era Japan …………… Sondra Wieland HOWE（63）

〈翻訳〉 明治時代におけるアメリカ音楽の受容

…………… ソンドラ・ウィーランド・ハウ／佐藤 渉（訳）（71）

スティーブン・フォスター再発見…………… 宮下和子（79）

〈原文〉 Predicting the Future of Foster Songs …………… Deane L. ROOT（99）

〈翻訳〉 フォスター歌曲の未来…………… ディーン・L・ルート／佐藤 渉（訳）（103）

『立命館言語文化研究』21巻1号～25巻4号 執筆者索引……………（107）

『立命館言語文化研究』21巻1号～25巻4号 総目次……………（115）

